



取扱説明書

無線モバイルIPフォン IP210H

はじめに

1 ご使用の前に

2 基本操作

3 応用操作

4 デュアルモード時の操作

5 各種機能の設定(メニュー画面)

6 別売品とその使いかた

7 ご参考に

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、IP無線機にWLAN無線機、IP電話機を搭載したハイブリッド無線機です。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本製品の特長

- ◎IP無線機(LTE)、WLAN無線機、IP電話機を搭載したハイブリッド無線機
- ◎LTE(ドコモ網/au網)、WLAN(無線アクセスポイント)、IP電話(SIPサーバー)モードに対応
- ◎デュアルSIMに対応
- ◎Bluetooth接続に対応
- ◎IP57^{★1}の防塵/防水性能
- ★1「IP表記について」(P.ii)をご覧ください。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」と「ご利用ガイド」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(本書)、「IP電話機操作ガイド」(PDFファイル)で構成されています。

ご使用になる前に/ご利用ガイド(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

IP無線機、WLAN無線機モードでの各種機能や使用方法、別売品などについて記載しています。

※本書に記載されている内容は、2023年6月時点の情報です。最新の情報は、ウェブサイトでご確認ください。

IP電話機操作ガイド(PDFファイル)

IP電話機モードでの各種機能や使用方法について記載しています。

取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

一般的なご使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

付属品

- ◎バッテリーパック(BP-311)
- ◎ご利用ガイド
- ◎ベルトクリップ(MBB-1)
- ◎ご使用になる前に
- ◎アンテナ
- ◎保証書
- ◎ACアダプター(BC-258:USBケーブル付属)
- ◎クリップカバー

使用後はリサイクルへ



この製品は充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。

JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

登録商標/著作権について

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

はじめに

防塵/防水性能について

バッテリーカバー、アンテナ、保護カバーを本製品に正しく取り付けられた状態で、IP57の防塵/防水性能があります。次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分間以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーパックや防水形スピーカーマイクロホンを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が本製品に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- 別売品を使用したとき
- 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷した状態で使用したとき
- 10℃～+60℃以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーカバー、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能

別売品を使用したときは、無線機本体についても防塵/防水性能が維持できませんのでご注意ください。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、製品として機能すること

IPX7(防浸形) : 水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、製品として機能すること

はじめに

海水が付着したときは？

海水が本製品に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。

海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

※バッテリーカバー、アンテナ、保護カバーを本製品に正しく取り付けた状態で洗浄してください。

※常温の真水でやさしく洗い流してください。

※ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

- ・無線機本体、バッテリーカバー、保護カバーが破損している場合
- ・落下などの強い衝撃を本製品に与えた場合

2.4GHz帯の電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯の無線LAN、またはBluetoothで通信するときには、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか、無線LANやBluetoothのご使用をお控えください。

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンター(P.7-4)へお問い合わせください。

2.4GHz現品表示記号の意味について

2.4GHz帯の無線LAN

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備

2.4DS/OF4

「DS/OF」：DS-SS方式/OFDM方式

「4」：想定干渉距離が40m以下

「----」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

Bluetooth

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備

2.4FH1

「FH」：FHSS方式

「1」：想定干渉距離が10m以下

「----」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

電波法/電気通信事業法のご注意

◎本製品は、電波法/電気通信事業法に基づいて、設計認証を受けた製品です。その証として、技適マークが本製品の認証画面(メニュー>情報>認証)に表示されています。分解や改造をしないでください。

◎本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。

◎本製品をご使用になる場合、人体より5mm以上離して使用してください。

無線LANについてのご注意

◎5.2GHz帯無線LANの使用は、電波法により、5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き、屋内に限定されます。

◎5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されます。

◎心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。

◎医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。

◎電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジを使用すると電磁波の影響により、本製品の無線通信が妨害されるおそれがあります。

はじめに

医用電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

◎植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行、および使用してください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。

◎医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

本製品の比吸収率(SAR)について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、携帯型端末などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg★の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本製品の値は最大1.52W/kg(10g)です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯型端末の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、本製品は、基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/index.html>

★技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

はじめに

日常のお手入れと点検

- ◎清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
また、バッテリーパックを取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎無線機本体、充電器、バッテリーパックなどの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。各端子は、定期的に乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎使用される前に、バッテリーパックの容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
また、バッテリーパックがしっかりと装着されているか点検してください。

取り扱い上のご注意

- ◎SIMカードの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露することがあります。結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎磁気カードを本製品に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。

◎IP無線機としてご使用になる場合、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

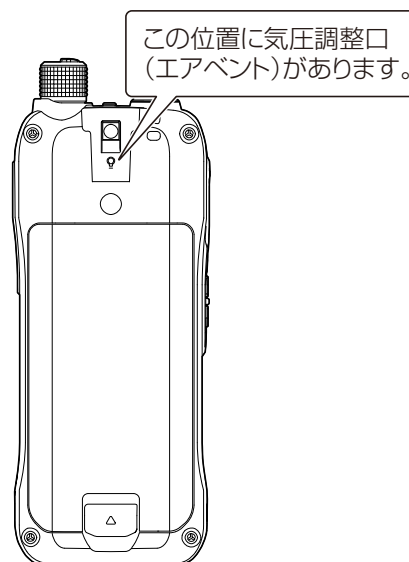
自動車運転時のご注意

- ◎安全運転のため、運転中に本製品を操作したり、本製品の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎本製品を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、走行中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、本製品を身体に付けた状態で運転しないでください。

気圧調整口(エアイベント)について

下図の位置に気圧調整口(エアイベント)があり、この下にある空気を通す素材のシートによって、気圧を調整しています。

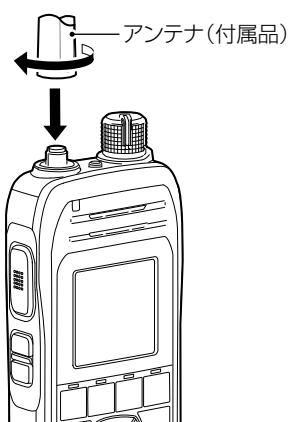
※ほかのシールを貼るなどしてふさぐと、気圧調整ができなくなり、運用してしばらくすると、内蔵スピーカーからの音量が小さくなる現象が発生することがあります。
また、防水性能が維持できなくなる場合があります。



■ アンテナの取り付け	1-2
■ ベルトクリップの取り付け	1-2
■ バッテリーパックの取り付け	1-2
■ 充電のしかた	1-3
■ バッテリーパックの特性と寿命について	1-3
■ バッテリーパックの膨らみについて	1-3
■ スピーカー・マイクロホンなどの接続	1-3
■ 各部の名称	1-4
■ 電源の入れかた	1-4
■ 音量調整のしかた	1-4
■ 通信モードの切り替え	1-5
■ 緊急速報機能について	1-5
■ ロック機能	1-6
■ 表示部	1-7

1 ご使用の前に

■ アンテナの取り付け

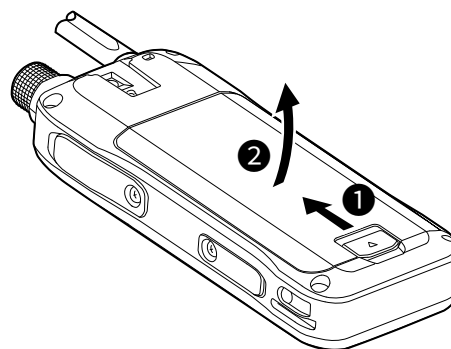


■ バッテリーパックの取り付け

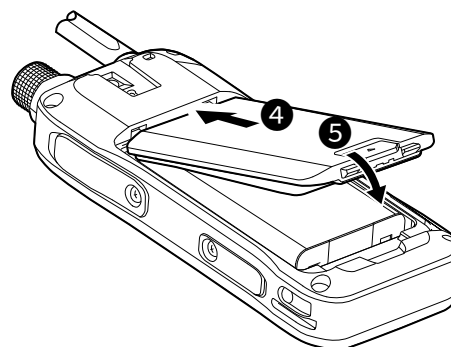
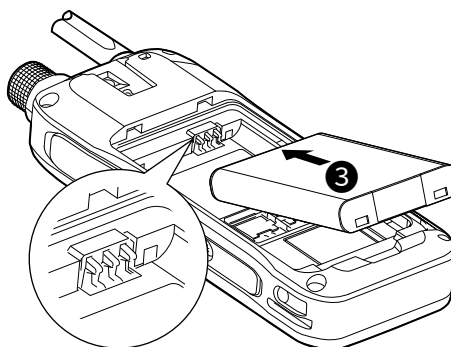
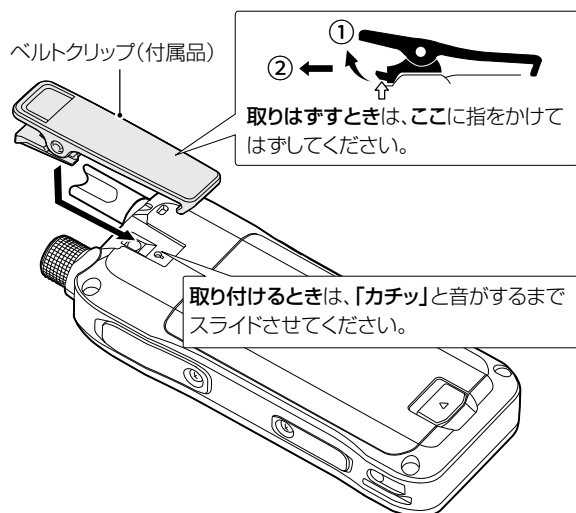
本製品の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。

バッテリーパックを着脱するときはベルトクリップを取りはずしてください。

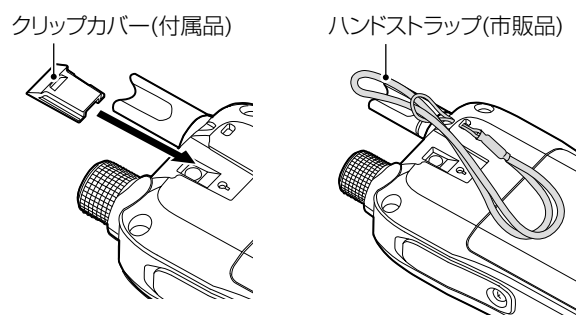
※お買い上げいただいたときや2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してからご使用ください。



■ ベルトクリップの取り付け



ご参考：クリップカバー、ハンドストラップを取り付ける場合



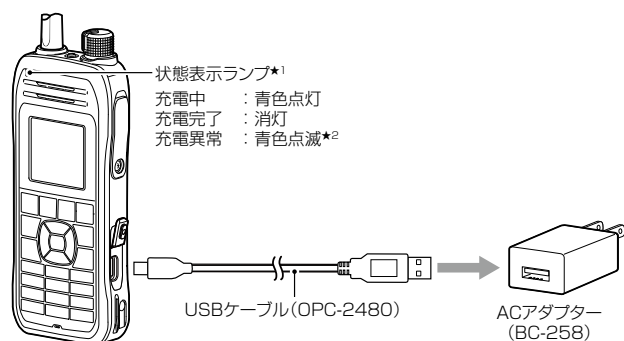
△注意

しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。

本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になります。

1 ご使用の前に

■充電のしかた



※0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。

★1 状態表示ランプの表示は、接続後しばらくたってから反映されます。

★2 充電異常時は、上図の接続を確認し、充電しなおしてください。

⚠危険

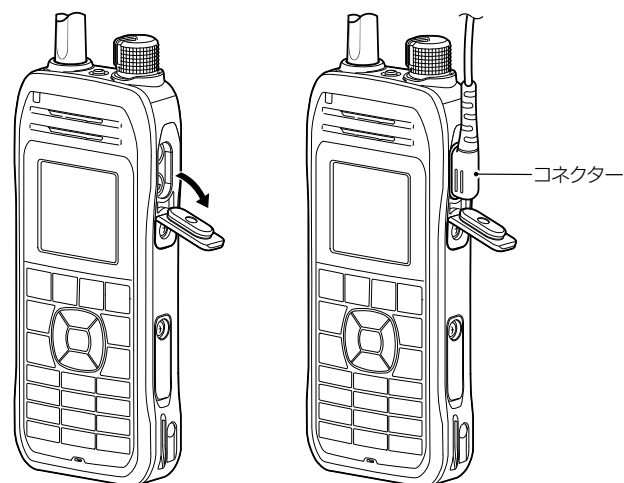
◎充電するときは、必ず本製品に対応した充電器をご使用ください。

◎「安全上のご注意」(別紙)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■スピーカー・マイクロホンなどの接続

本製品の電源を切ってから、図のように保護カバーを開けて、別売品のコネクターを接続してください。

※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを閉じてご使用ください。



■バッテリーパックの特性と寿命について

◎バッテリーパックは消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。

充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止してください。

◎発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。

◎使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。

◎劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。

◎充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。本製品の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

■バッテリーパックの膨らみについて

性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

◎ひんぱんに充電している

◎満充電直後でも再充電している

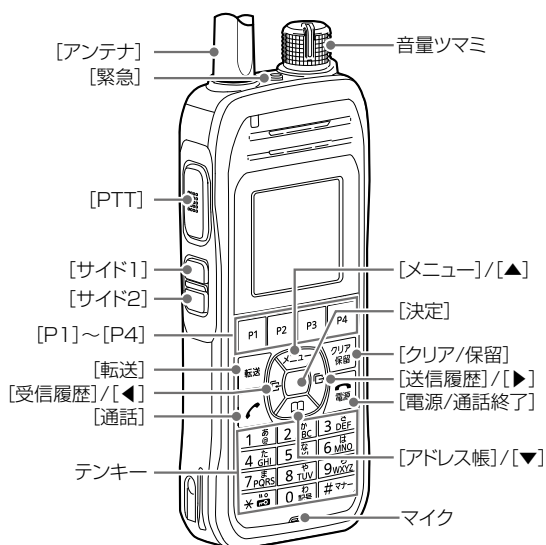
◎高温な場所で使用・保管している

◎本書で説明する充電方法と異なる

バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

1 ご使用の前に

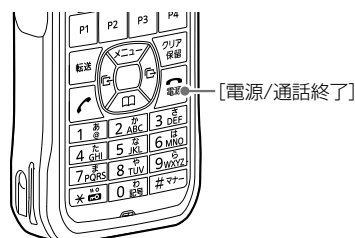
■各部の名称



■電源の入れかた

画面が表示されるまで[電源/通話終了]を長く押します。

- 「ピー」と鳴り、起動が完了すると、待受画面が表示されます。



電源を切るときは

「電源OFF」が表示されるまで[電源/通話終了]を長く押します。

- ※バッテリーパックを交換するときは、「電源OFF」の表示が消えたことを確認してから、バッテリーパックを取りはずしてください。

■音量調整のしかた

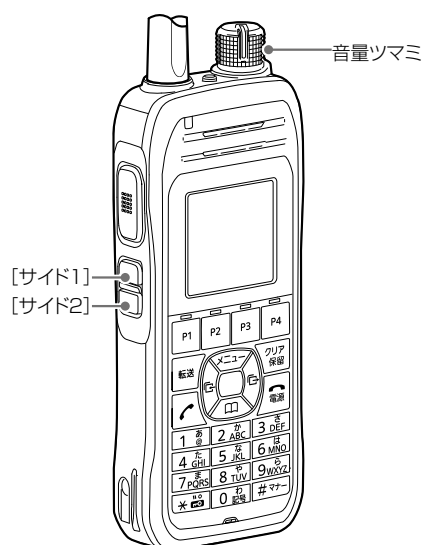
音量ツマミを回す、または[サイド1]/[サイド2]を押すと、音量が調整できます。

- ※調整できる範囲は、「0～32」です。

相手の音声聞きやすい音量に調整してください。

- ※音量が最小のときは、受信音、操作音、緊急速報の通知音は鳴りません。

- ※音量ツマミで音量調整できる場合は[サイド1]/[サイド2]は動作しません。



1 ご使用の前に

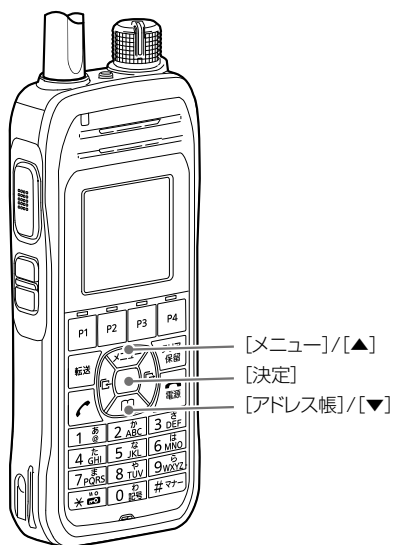
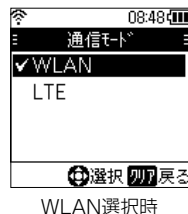
■通信モードの切り替え

状況に応じて、手動で通信モードを変更できます。

※本製品の動作モードが「IP無線機モード」、「IP無線機+IP
電話機モード」のときは、設定を変更できません。

例：LTEモードに切り替える場合

1. [メニュー]/[▲]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「設定」を選択します。
3. 「通信モード」を選択します。
4. [▲]/[▼]を押して、「LTE」に設定します。



■緊急速報機能について

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共
団体が配信する災害/避難情報を、警告音と画面表示で通知
する機能です。

※通信モードが「LTE」のときだけ動作します。

※音量が最小のときは、緊急速報の通知音は鳴りません。

1 ご使用の前に

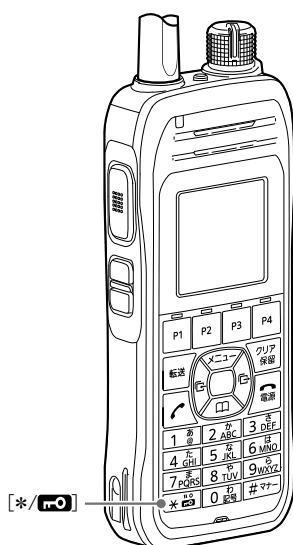
■ ロック機能

[*/

※同じ操作をすると、ロックを解除できます。

※ロックされない操作は、ロック機能の解除、送信/受信、電源の入/切、音量調整です。

※緊急呼び出し機能が設定されている場合、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。



1 ご使用の前に

■表示部

運用モードにより表示されるアイコンが異なります。



	電波の強度を3段階(目安)で表示
	点灯：SIPサーバー★ ¹ 、IP無線機コントローラーに未接続 点滅：サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合(圏外)
	電波の強度を3段階(目安)で表示
	点灯：SIPサーバー★ ¹ 、コントローラー★ ² に未接続 点滅：無線アクセスポイントに未接続
	SIPサーバー★ ¹ のみ未接続(未レジスト)
	コントローラー★ ² 、またはIP無線機コントローラーのみ未接続
	全体/グループ呼び出し
	トークグループ呼び出し
	個別呼び出し
	近隣呼出機能設定時
	電話通信中
	待ち受け時に局番号(内線番号)を表示 ※設定されていないときは空白
	留守番電話新着メッセージあり
	点灯：録音機能設定時 点滅：未確認録音データあり
	録音中
	Bluetooth機能設定時
	Bluetooth機器と接続中
	ポケットビープ機能設定時
	Pベル機能表示
	ロック機能動作中
	マナーモード設定時
	受信音声ミュート設定時
	ハンズフリー機能設定時
	電池の残量(目安)を4段階で表示 十分、 残量あり、 残量少(早めに充電)、 残量なし(要充電)、 充電中

★1 本製品を制御するSIPサーバーとして使用できるのは、SR-7100VN(#31)、VE-PG4、SR-8000Vです。

★2 本製品を制御するコントローラーとして使用できるのは、AP-9500、VE-PG4、SR-8000Vです。

「F」が表示されたときは

「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。

◎そのまま電源を切らず、電波状況のよい環境でお待ちください。ダウンロードが完了すると、「F」が点灯します。

◎「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。

◎電池残量が十分あることを確認してください。

(残量あり)の状態になるまで充電してから、電源を入れなおし、再度ダウンロードしてください。

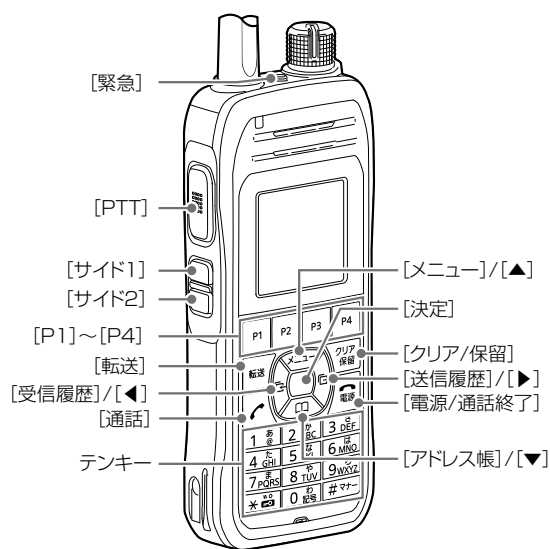
2 章

基本操作

■ 各キーの使いかた	2-2
■ 通話のしかた	2-3
■ アドレス帳の使いかた	2-4
■ 履歴の使いかた	2-5

2 基本操作

■ 各キーの使いかた



[PTT]	キーを押しているあいだ、送信状態になります。
[緊急] [サイド1]、[サイド2] [P1]~[P4]* (プログラマブルキー)	各機能を割り当てできます。(P.3-12)
[メニュー]/[▲]	待受画面時 : メニュー画面を表示します。 メニュー画面時 : 項目を1つ上に移動します。
[受信履歴]/[◀]	待受画面時 : 受信履歴を表示します。 メニュー画面時 : 階層を1つ戻ります。
[送信履歴]/[▶]	待受画面時 : 送信履歴を表示します。 メニュー画面時 : 階層を1つ進みます。
[アドレス帳]/[▼]	待受画面時 : アドレス帳を表示します。 メニュー画面時 : 項目を1つ下に移動します。
[決定]	設定項目の選択、メッセージやプレゼンスの送信をします。
[転送]	電話の転送、電話帳画面における検索、文字種類変換に使用します。
[クリア/保留]	電話通話中 : 保留/保留解除します。 メニュー画面時 : 階層を1つ戻ります。
[通話]	IP電話機 : 発信/応答します。 IP電話機(通話中)/ IP無線機(受信)/ WLAN無線機(受信) : 長押し(約1秒)すると、ハンズフリー機能のON/OFFを切り替えます。
[電源/通話終了]	短押し : 電話通信時の通話を終了します。 メニュー画面から待ち受け画面に戻ります。 長押し : 電源のON/OFF
テンキー	電話発信時のテンキー、検索時の文字入力、キーロック、マナーモードの設定に使用します。

※上表に記載されている★印の機能は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

2 基本操作

■ 通話のしかた

1. 呼び出しをする(送信する)

[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、[状態表示]ランプが赤色に点灯します。

2. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、[状態表示]ランプが緑色に点灯します。

3. 通話をつづける

相手が送信しているときでも、[PTT]を押しながら、電話のように同時通話できます。

- 送受信状態(複信通話時)のときは、[状態表示]ランプが黄色に点灯します。

※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

※通話相手の音声がかさじたり、ふさいだりすると、十分な性能を発揮できませんので、ご注意ください。

※スピーカーやマイクに手をかざしたり、ふさいだりすると、十分な性能を発揮できませんので、ご注意ください。



ご注意

本製品の受話音量が最大近くに設定され、騒音環境や本製品同士を近づけていた状態で、同時通話をする、相手に周期的な残響ノイズが聞こえることがあります。

このようなときは、音量を小さくすると、現象が発生しにくくなります。



連続送信について

[PTT]が押しつづけられる場合など、不用意な送信を防止するために、タイマーが設定されています。

連続送信が設定された時間*を超えると、自動的に送信を停止しますので、通話を再開するには再度[PTT]*を押してください。

★レジストしているサーバー側の設定に依存します。

バイブレーション機能について

お買い上げの販売店でバイブレーション機能が設定されている場合は、振動でも受信を確認できます。

操作時の確認音について

お買い上げの販売店の設定により、キーを操作したときに確認音が鳴ります。

通知音について

お買い上げの販売店の設定により、受信や圏外などを音で確認できます。

バックライトについて

お買い上げの販売店の設定により、バックライトが動作します。

交互通話(単信通話)の場合

お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

※相手の通話が終了してから、送信してください。

マイクの使いかた

マイクに向かって話すときは、口元から約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。

マイクを近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

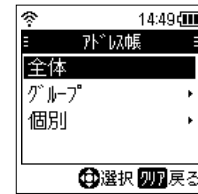
2 基本操作

■アドレス帳の使いかた

本製品で使用するアドレス帳は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

1.アドレス帳から相手先を選択する(例：グループ)

1. [アドレス帳]を押します。
※メニュー⇒アドレス帳からも選択できます。
2. [▲]/[▼]を押して、「グループ」を選択し、[決定]を押します。
※トークグループを使用する場合は、3-2ページをご覧ください。
3. [▲]/[▼]を押して、相手先(例：営業グループ1)を選択し、[決定]を押します。
・待ち受け画面に、選択されている相手先が表示されます。



グループ呼び出し選択時

2.[PTT]を押す

[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

- ・[PTT]を押しているあいだは、[状態表示]ランプが赤色に点灯します。



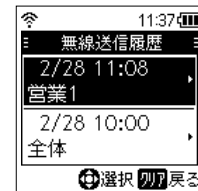
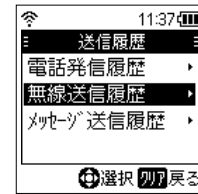
2 基本操作

■履歴の使いかた

履歴機能は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

1.送信履歴から通話相手を選択する

1. [送信履歴]を押します。
※受信履歴から通話相手を選択する場合は、[受信履歴]を押します。
※メニュー⇒送信履歴/受信履歴からも選択できます。
2. [▲]/[▼]を押して、無線送信履歴を選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、相手先(例：営業1)を選択し、[決定]を押します。
4. 無線送信履歴の詳細で[決定]を押します。



2.[PTT]を押す

[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、[状態表示]ランプが赤色に点灯します。



個別呼び出し選択時

履歴について

無線送受信、メッセージ送受信履歴は10件、電話発着信履歴は30件まで記憶され、それぞれの件数を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。



■ トークグループ呼び出しについて	3-2
■ トークグループをメニューから選択するときは	3-3
■ トークグループを[アドレス帳]から選択するときは	3-4
■ メッセージを送信するときは	3-5
■ 受信したメッセージを確認するときは	3-6
■ プレゼンスを送信するときは	3-7
■ 履歴をすべて消去するときは	3-8
■ 近隣呼出機能について(WLAN無線機モードのみ)	3-9
■ ポケットビープ機能について	3-10
■ Pベル機能について	3-10
■ SIMカードの切り替えについて	3-11
■ プログラマブルキー ([P1]～[P4]/[サイド1]/[サイド2]/[緊急])について	3-12
■ Bluetooth機能	3-13
◇ ペアリングのしかた	3-13
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	3-15
■ 遠隔送信機能(IP無線機モードのみ)	3-16
■ 遠隔送信を要求するときは(IP無線機モードのみ)	3-17
■ 静止状態検出機能	3-18
■ 動作状態検出機能	3-19
■ Lone Worker機能	3-20
◇ 静止状態検出について	3-20
■ マンダウン機能	3-21
◇ 静止状態検出について	3-21
■ 録音機能	3-22
◇ メニュー画面で無線録音を有効にする	3-22
◇ 録音内容を再生するときは	3-23
◇ 録音内容をすべて消去するときは	3-24
■ テンキー呼出	3-25
■ 通知補助機能	3-26

■トークグループ呼び出しについて

どのグループに所属するかを、端末側で選択できる機能です。同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。

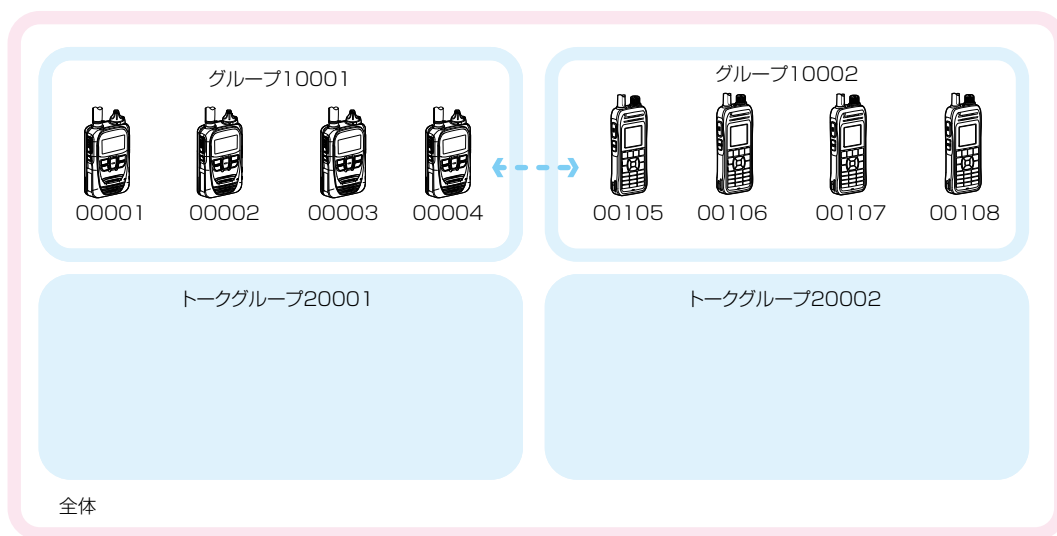
図のように、トークグループ(例：20001)を選択すると、その端末(例：00105)は通常のグループ(例：10002)からはずれません。

※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

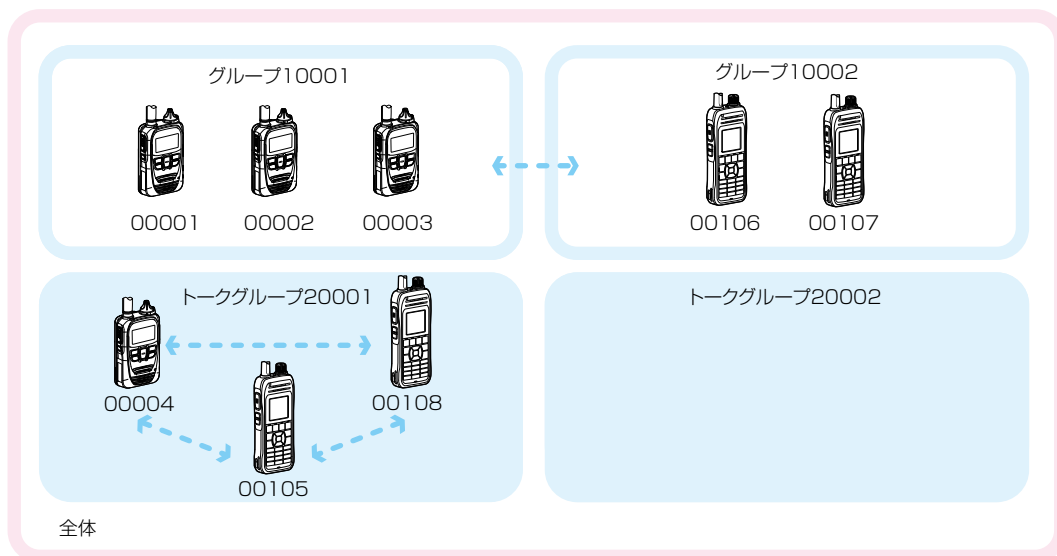
※トークグループの選択方法は、3-3ページをご覧ください。

※通常のグループ呼び出し、全体呼び出しの対象にトークグループを含めるかどうかなど、お買い上げの販売店にご依頼ください。

トークグループOFF時



トークグループ選択時



3 応用操作

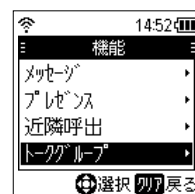
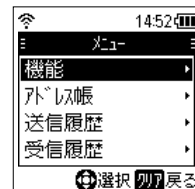
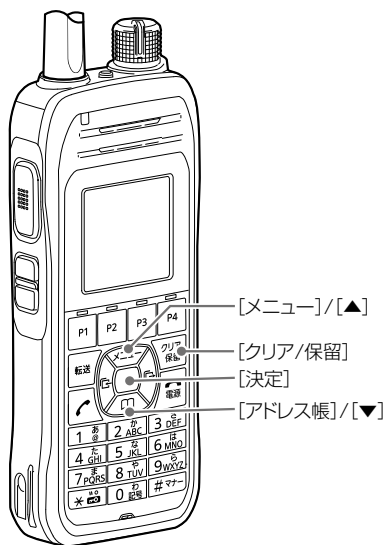
■ トークグループをメニューから選択するときは

お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [メニュー]を押します。
2. 「機能」選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、「トークグループ」を選択し、[決定]を押します。
4. [▲]/[▼]を押して、トークグループを選択します。
 - 同じグループ番号(例：TG20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。

※トークグループ選択時、通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-4)

※トークグループを解除するときは、「OFF」を選択します。

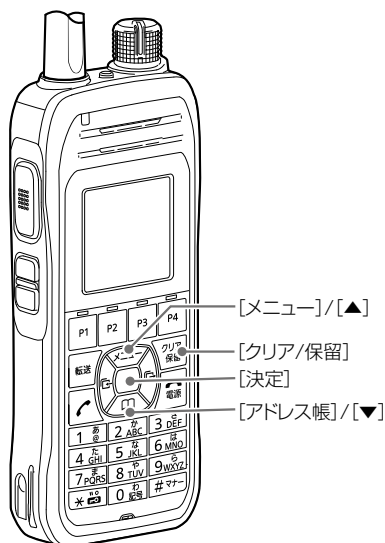


3 応用操作

■ トークグループを[アドレス帳]から選択するときは

お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]を押します。
※メニュー⇒アドレス帳からも選択できます。
2. [▲]/[▼]を押して、「トークグループ」を選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、トークグループを選択します。
 - 同じトークグループ番号(例：TG20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。※トークグループ選択時、通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-4)
※トークグループを解除するときは、別の呼出種別を選択します。



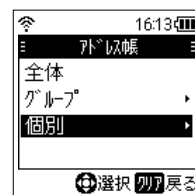
3 応用操作

■メッセージを送信するときは

お買い上げの販売店で、メッセージの送信が設定されている場合に使用できます。

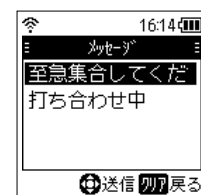
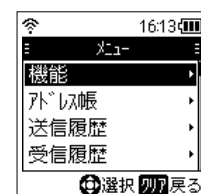
1.送信先を選択する

1. [アドレス帳]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「個別」を選択し、[決定]を押します。
※トークグループを使用する場合は、3-2ページをご覧ください。
3. [▲]/[▼]を押して、相手先を選択します。
※送信先は履歴からも選択できます。



2.メッセージを選択して送信する

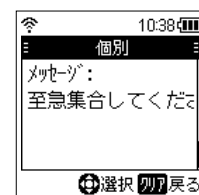
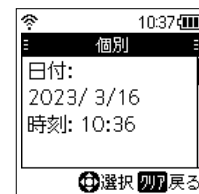
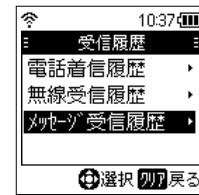
1. [メニュー]を押します。
2. 「機能」選択し、[決定]を押します。
3. 「メッセージ」選択し、[決定]を押します。
4. [▲]/[▼]を押して、送信するメッセージを選択します。
5. [決定]を押すと、メッセージが送信されて待ち受け画面に戻ります。



3 応用操作

■受信したメッセージを確認するときは

1. [受信履歴]を押します。
※メニュー⇒受信履歴からも選択できます。
2. [▲]/[▼]を押して、メッセージ受信履歴を選択し、
[決定]を押します。
3. 確認するメッセージを選択し、[決定]を押します。
※[▼]を押すごとに、日時⇒名称⇒番号⇒メッセージと
切り替わります。

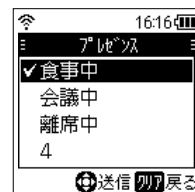
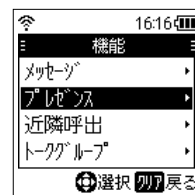
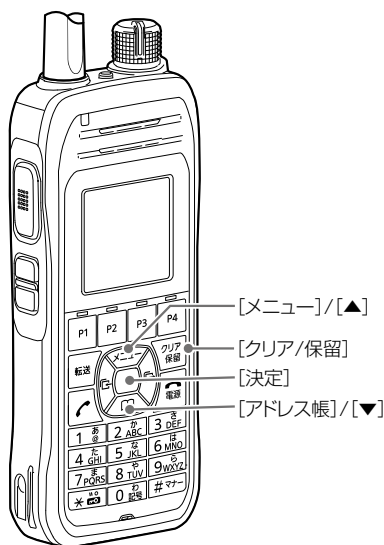


3 応用操作

■ プレゼンスを送信するときは

お買い上げの販売店で、送信するステータス(例：食事中/会議中)が設定されている場合に使用できます。

1. [メニュー]を押します。
2. 「機能」選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、「プレゼンス」を選択し、[決定]を押します。
4. [▲]/[▼]を押して、送信するステータスを選択し、[決定]を押します。



送信したプレゼンス情報を閲覧するには

◎IP無線機モード時

端末の位置情報とプレゼンス情報を確認できるソフトウェアとして、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※別途、昭文社のスーパーマッブル・デジタル(地図ソフトウェア)が必要です。

※本製品の位置情報を表示できるのは、お買い上げ時に本製品のGPS機能が有効に設定されて、弊社製ゲートウェイユニット側で情報を取得できる場合だけです。

※詳しくは、弊社ホームページ掲載のPM-IP500ご利用ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

◎WLAN無線機モード時

端末のプレゼンス情報は、コントローラー★側のWEB画面、またはIP100FS(リモートコミュニケーター)側で確認できます。

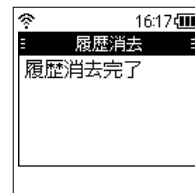
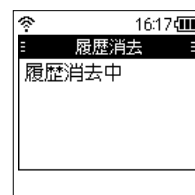
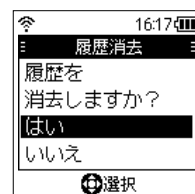
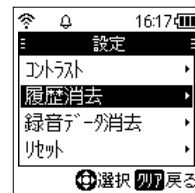
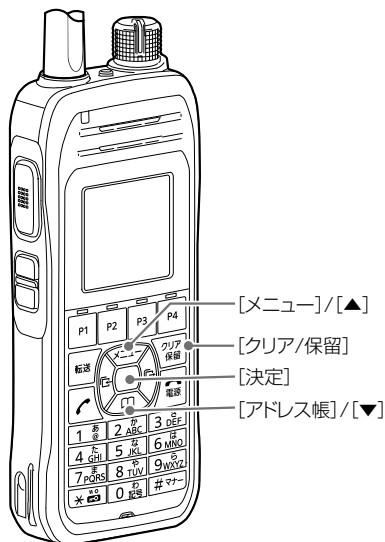
※詳しくは、弊社ホームページ掲載している各コントローラー★側の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

★端末を制御するコントローラーとして使用できるのは、AP-9500、VE-PG4、SR-8000Vです。

3 応用操作

■履歴をすべて消去するときは

1. 電源を切った状態で、[メニュー]を押しながら、電源を入れます。
※待ち受け画面が表示されたら、[メニュー]から指をはなします。
2. [メニュー]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、「設定」を選択し、[決定]を押します。
4. [▲]/[▼]を押して、「履歴消去」を選択し、[決定]を押します。
5. 「履歴消去をしますか？」と表示されたら、「はい」を選択して、[決定]を押します。
 - 録音を除くすべての履歴が消去されます。※メニューの選択画面に戻るときは、[クリア/保留]を押します。



3 応用操作

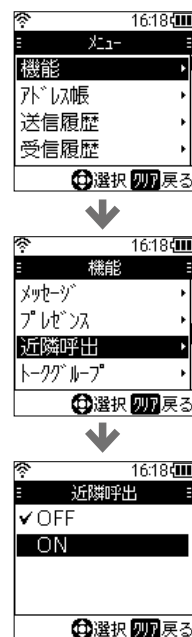
■近隣呼出機能について(WLAN無線機モードのみ)

特定のエリア(例:1階フロア)に限定して運用するとき使用する機能です。

※コントローラー側で、エリア、近隣呼出機能が設定されている場合に使用できます。

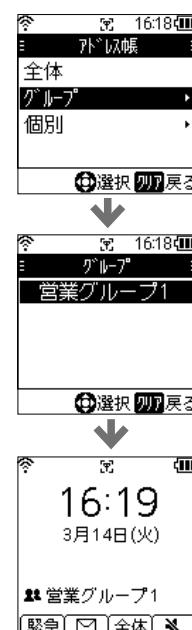
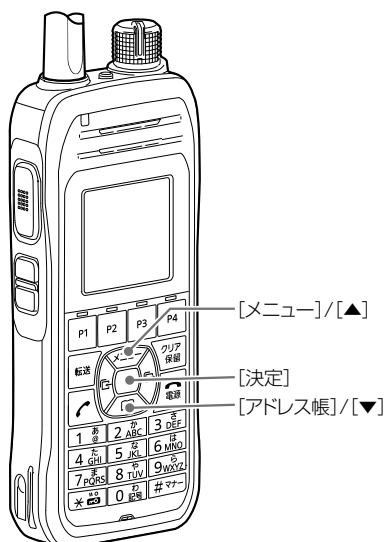
1.送信先を選択する

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「機能」を選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、「近隣呼出」を選択し、[決定]を押します。
4. [▲]/[▼]を押して、「ON」を選択し、[決定]を押します。
※近隣呼出機能をONにすると、「」が点灯します。



2.相手先を選択して送信する

1. [アドレス帳]を押します。
2. 「グループ」を選択し、[決定]を押します。
3. 「例：営業グループ1」選択し、[決定]を押します。
4. [PTT]を押します。



3 応用操作

■ ポケットビープ機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせする機能です。

※お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

受信通知音とポケットビープ機能が設定されている呼出種別があるときは、「」が点灯します。

その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせします。



待受画面



個別呼び出し受信時

■ Pベル機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音でお知らせする機能です。応答するまで、相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※[PTT]を押して応答すると、音声ミュートを解除し、相手の音声がかかります。

※お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

受信通知音とPベル機能が設定されている呼出種別があるときは、「」が点灯します。

その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音でお知らせします。



待受画面

3 応用操作

■ SIMカードの切り替えについて

本製品にはSIMスロットが2つあり、初期設定ではSIM1側のSIMカードを使用して、回線に接続します。

SIMカードを切り替える場合は、メニューからSIMを選択してください。再起動後、選択したSIMスロットに装着されているSIMカードを使用して、回線に接続します。

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「設定」を選択します。
3. [▲]/[▼]を押して、「SIM切替」を選択します。
4. [▲]/[▼]で「SIM2」を選択します。
※お買い上げの販売店で、SIMスロット(SIM1/SIM2)に名前が設定されている場合は、その内容が表示されます。
5. [決定]を押します。
 - 本製品が再起動します。

切り替え操作後、SIM2からSIM1へ移行する条件

- ◎メニュー画面からSIM1に切り替えた場合
- ◎リセットをした場合
- ◎本製品の電源を切った場合
※お買い上げの販売店で、電源OFF時のSIM選択の初期化が設定されている場合に動作します。



3 応用操作

■ プログラマブルキー（[P1]～[P4] [サイド1]/[サイド2]/[緊急]）について

よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するときなどに使用するキーです。

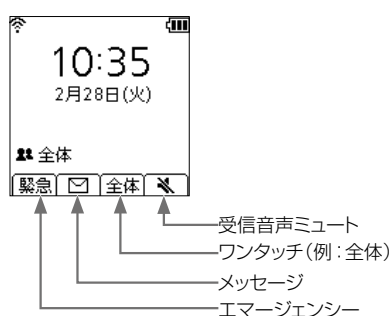
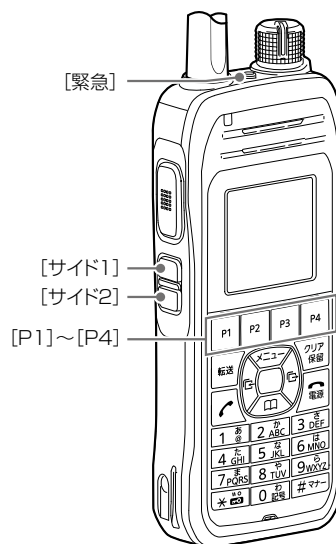
※お買い上げの販売店で、[P1]～[P4]、[サイド1]、[サイド2]、[緊急]に機能が設定されている場合に使用できます。

ワンタッチ	特定の呼出種別、または相手を選択する機能です。
エマージェンシー	緊急時にあらかじめ設定した相手に緊急呼び出しをする機能です。（P.3-15）
メッセージ	よく使うメッセージを送信する機能です。 キーを押すと、設定されたメッセージを表示します。
受信音声ミュート	受信時に、音声をミュートする機能です。 キーを約1秒押すごとに、受信音声ミュート機能のON/OFFを切り替えます。
遠隔送信★ ¹ （エマージェンシー サイレントモード）	端末から別の端末に対して、自動送信を要求できる機能です。（P.3-16）
音量アップ★ ² ★ ³	音量を上げます。
音量ダウン★ ² ★ ³	音量を下げます。

★1 「IP無線機モード」時に設定できます。

★2 [サイド1]、[サイド2]だけに設定できます。

★3 音量ツマミで音量調整できる場合は動作しません。



■ Bluetooth機能

本製品のBluetooth機能を有効にすると、Bluetooth対応機器と接続できます。

※Bluetooth機能を使用する場合は、メニュー画面での設定が必要です。(P.3-14)

※Bluetoothの通信範囲は、約10m(目安)です。

※本製品は、最大4台までBluetooth機器を登録できますが、本製品とBluetooth機器を1対1の組み合わせで設定されることをおすすめします。

※本製品と別売品のVS-3(Bluetoothヘッドセット)をBluetooth接続することで、VS-3から送受信操作ができます。

Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信距離が著しく変化します。

電子レンジなどによる妨害

無線LANによる妨害

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。

また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

◇ ペアリングのしかた

ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器と本製品をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。

※複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検索できないことがあります。

このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。

※電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、端末側のスピーカーから音が出るように切り替わります。

端末側の音量ボリュームの上げすぎにご注意ください。

※本書では、VS-3を例に説明しています。

1.VS-3をペアリングモードにする

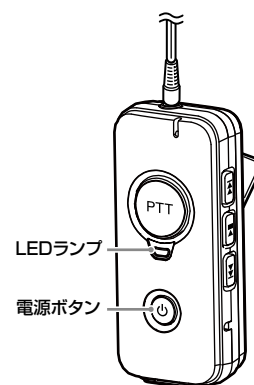
1. LEDランプが赤/青交互に点滅するまで、VS-3の[電源]を長く(約6秒)押します。

2. 「ピパ」★と鳴って、LEDランプが赤/青交互に点滅したら、ボタンから手をはなします。

※はじめてVS-3をご使用になる場合は、電源を入れるだけでペアリングモードになります。

※ペアリングする機器がない状態が5分つづくと、ペアリングモードが解除され、さらに5分経過すると、電源が切れます。

★VS-3に接続しているイヤホンから音が鳴ります。



3 応用操作

■Bluetooth機能

◇ペアリングのしかた

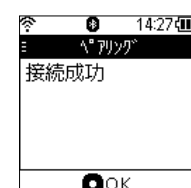
2.メニュー画面でBluetooth機能を有効にする

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「設定」を選択します。
3. [▲]/[▼]を押して、「Bluetooth」を選択します。
4. 「Bluetooth機能」を選択します。
5. [▲]/[▼]で「ON」を選択します。



3.端末とVS-3をペアリングする

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「設定」を選択します。
3. [▲]/[▼]を押して、「Bluetooth」を選択します。
4. [▲]/[▼]を押して、「検索」を選択します。
 - 「検索中」が表示されます。
 - 検索成功すると、対象機器の名称が表示されます。
 - 「検索失敗」が表示された場合は、「1.VS-3をペアリングモードにする」からやり直してください。
5. 表示された検索結果を確認し、[決定]を押します。
 - 「ペアリング」と「BTアドレス表示」が表示されます。
6. 「ペアリング」を選択して、[決定]を押します。
 - 「ペアリング中」→「接続中」→「接続成功」の順に表示されます。



ペアリング後の動作について

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

- ◎本製品のBluetooth機能ON(有効)時
- ◎本製品が待ち受け状態
- ◎Bluetooth機器の電源ON時

※接続が完了すると「BT」が点灯します。

※2023年6月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。

3 応用操作

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合など、あらかじめ設定されている相手に緊急呼び出しをする機能です。

※お買い上げの販売店で、プログラマブルキーに緊急呼び出し機能が設定されている必要があります。

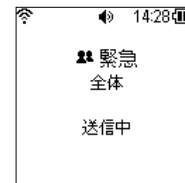
※エマージェンシーサイレントモード動作時、[状態表示]ランプは点灯しません。

緊急呼び出しをするときは

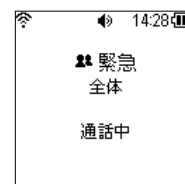
1. 「緊急」と表示されるまで、緊急呼び出し機能が割り当てられているプログラマブルキー([P1]～[P4]、[緊急])を長く押します。
 - 「緊急」が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。

※お買い上げの販売店で、サイレントモード(警告表示や警告音が無効)に設定されている場合は、警告音や緊急表示は動作しません。
2. 「緊急」表示の状態、応答を待ちます。
 - 応答があると、警告音(ピロピロ…)が停止し、[状態表示]ランプが緑色に点灯します。
 - 終話すると、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。

※緊急呼び出しを解除するときは、「緊急」の表示が消えるまで[緊急呼び出し]を長く押す、または本製品の電源を切ってください。



緊急呼び出し表示

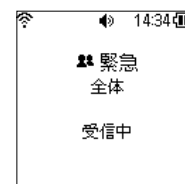


応答後(通話中)

緊急呼び出しを受けるとき

1. 「緊急」と呼び出し先が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。

※お買い上げの販売店で、警告音が無効に設定されている場合は鳴りません。
2. [PTT]を押しながら、マイクに向かって、応答します。
 - 警告音(ピロピロ…)が停止します。
 - [PTT]を押しているあいだは、[状態表示]ランプが赤色に点灯します。
 - 終話すると、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。



緊急呼び出し受信中

ご注意

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能は、電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 遠隔送信機能(IP無線機モードのみ)

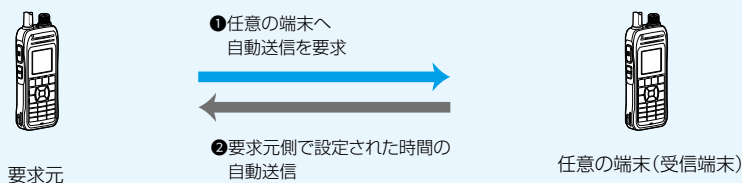
端末から別の端末に対して、自動送信を要求できる機能です。

※お買い上げの販売店で、遠隔送信機能(要求元/受信端末側)、緊急呼び出し機能(受信端末側)が設定されている場合に使用できます。

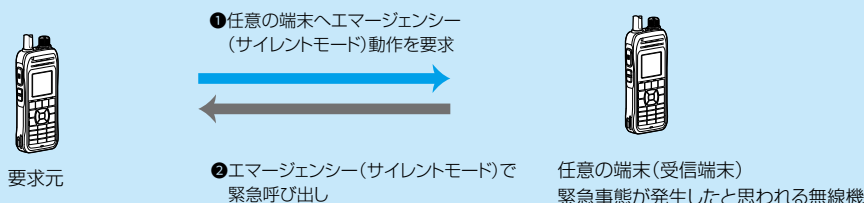
※エマージェンシーサイレントモード動作時、[状態表示]ランプは点灯しません。

端末から別の端末に要求する動作モード

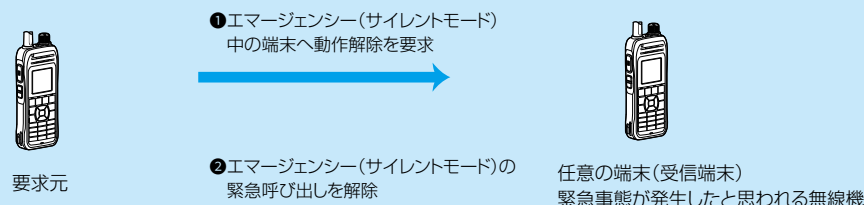
遠隔送信：要求



遠隔送信：要求(エマージェンシーサイレントモード)



遠隔送信：解除(エマージェンシーサイレントモード)



遠隔送信の要求を受信した端末の動作について

要求元から指定された内容にしたがって動作します。

※自動送信時のマイク入力、通常時とは別に設定されています。

◎**要求**：ピープ音が鳴り、自動送信を開始し、[状態表示]ランプが赤色に点灯します。

※送信時間は、要求元で設定された時間にしがいます。

◎**要求(エマージェンシーサイレントモード)**

：エマージェンシーサイレントモードを開始します。

※呼び出し先は、要求元に送信します。

※緊急呼び出し機能の設定に関係なく、警告表示と警告音は動作しません。

※送信時間は、解除要求受信までか、自動解除の設定によります。

◎**解除(エマージェンシーサイレントモード)**

：エマージェンシーサイレントモードを解除します。

3 応用操作

■ 遠隔送信を要求するときは(IP無線機モードのみ)

※お買い上げの販売店で、遠隔送信機能(要求元/受信端末側)、緊急呼び出し機能(受信端末側)が設定されている場合に使用できます。

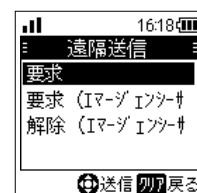
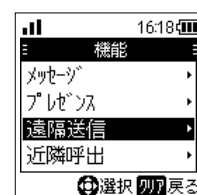
※遠隔送信機能は呼出種別が「個別」のときだけ使用できます。

1. 送信先を選択する

1. [アドレス帳]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「個別」を選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、相手先を選択します。
※送信先は履歴からも選択できます。

2. 要求する動作モードを選択して送信する

1. [メニュー]を押します。
2. 「機能」選択し、[決定]を押します。
3. 「遠隔送信」★選択し、[決定]を押します。
4. [▲]/[▼]を押して、要求する動作モードを選択します。
5. [決定]、または[PTT]を押します。
★「遠隔送信(エマージェンシーサイレントモード)」が割り当てられているプログラマブルキー([P1]～[P4]、[緊急])を押すと、手順4から操作できます。



3 応用操作

■ 静止状態検出機能

お買い上げの販売店で静止状態検出機能が設定されていると、下記の場合に静止状態警告タイマーが動作します。静止状態警告タイマーで設定した時間が経過すると、緊急呼び出し(P.3-15)が自動的に動作します。

条件：静止状態監視タイマーで設定した時間、本製品が静止状態と判断されたとき

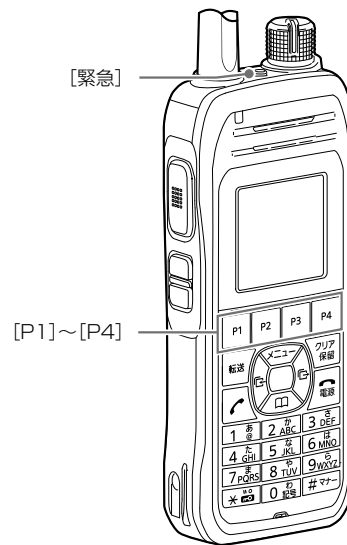
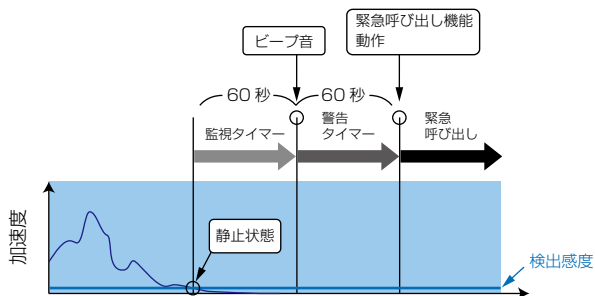
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、お買い上げの販売店で設定された解除判定時間(例：10秒)、緊急呼び出しを割り当てたプログラマブルキー([P1]～[P4]、[緊急])を長押しすると、静止状態監視タイマーと静止状態警告タイマーの両方がリセットされます。

※設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

動作例

静止状態監視タイマー(秒)：60秒

静止状態警告タイマー(秒)：60秒



3 応用操作

■動作状態検出機能

お買い上げの販売店で動作状態検出機能が設定されていると、下記の場合に動作状態警告タイマーが動作します。動作状態警告タイマーで設定した時間が経過すると、緊急呼び出し(P.3-15)が自動的に動作します。

条件：動作状態監視タイマーで設定した時間、本製品が運動状態と判断されたとき

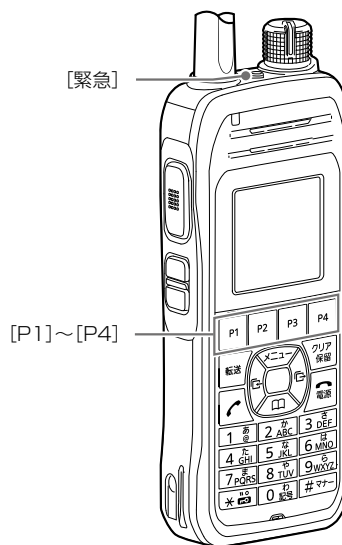
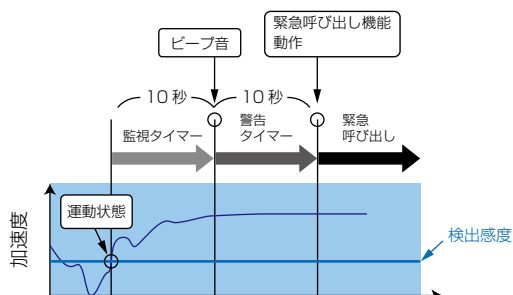
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、お買い上げの販売店で設定された解除判定時間(例：10秒)、緊急呼び出しを割り当てたプログラマブルキー([P1]～[P4]、[緊急])を長押しすると、動作状態監視タイマーと動作状態警告タイマーの両方がリセットされます。

※設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

動作例

動作状態監視タイマー(秒)：10秒

動作状態警告タイマー(秒)：10秒



■ Lone Worker機能

本製品を一定時間操作しなかった場合、Lone Worker機能が動作します。

Lone Worker機能が動作すると、緊急呼び出し機能(P.3-15)が自動的に動作します。

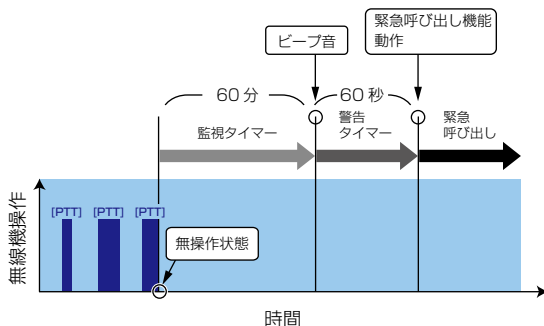
警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。

※お買い上げの販売店で、Lone Worker機能が設定されている場合に使用できます。

動作例

Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



◇ 静止状態検出について

お買い上げの販売店でLone Worker機能の静止状態検出が設定されていると、下記の場合にLone Worker警告タイマーが動作します。

Lone Worker警告タイマーで設定した時間が経過すると、緊急呼び出しが自動的に動作します。

条件：Lone Worker監視タイマーで設定した時間、本製品の操作がなかった、かつLone Worker監視タイマーで設定した時間、静止状態と判断されたとき

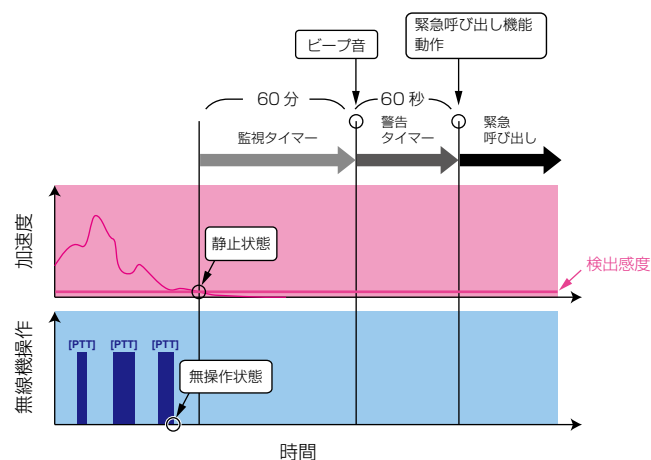
※Lone Worker監視タイマー、またはLone Worker警告タイマー中に、本製品を操作する、または本製品を動かすと、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーの両方がリセットされます。

※設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

動作例

Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



■ マンダウン機能

本製品を使用している人が倒れるなどして、本製品が設定された検出角度(45、60、75度)以上に傾いた状態が一定時間つづく、と、マンダウン機能が動作します。

マンダウン機能が動作すると、緊急呼び出し機能(P.3-15)が自動的に動作します。

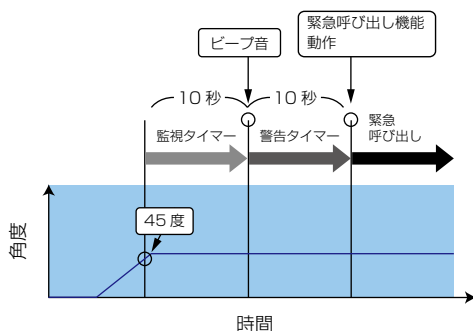
※お買い上げの販売店で、マンダウン機能が設定されている場合に使用できます。

動作例

マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



本製品が45度以上傾いた状態が10秒間つづいた場合、「ピープ音」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴りはじめて、本製品が45度以上傾いた状態が10秒間つづく、と、緊急呼び出しが自動的に動作します。

※緊急呼び出しが動作するまでに本製品の傾きを45度以内にもどすと、マンダウン機能が再設定されます。

◇ 静止状態検出について

お買い上げの販売店でマンダウン機能の静止状態検出が設定されていると、下記の場合にマンダウン警告タイマーが動作します。

マンダウン警告タイマーで設定した時間が経過すると、緊急呼び出しが自動的に動作します。

条件：本製品が傾いたままマンダウン監視タイマーで設定した時間が経過した、かつマンダウン監視タイマーで設定した時間、静止状態と判断されたとき

※マンダウン監視タイマー、またはマンダウン警告タイマー中に、本製品の傾きが設定した角度以下になる、または本製品を動かすと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーの両方がリセットされます。

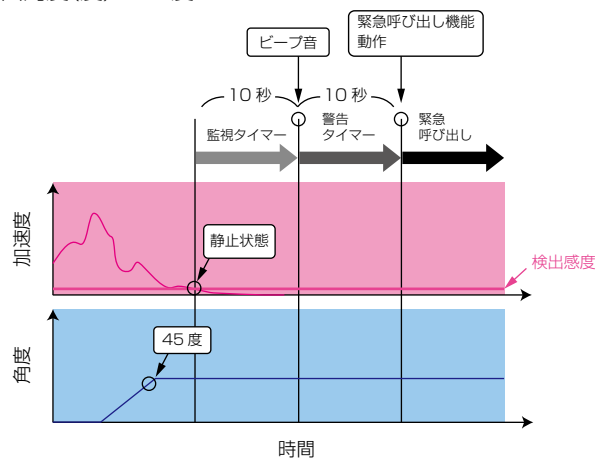
※設定については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

動作例

マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



3 応用操作

■ 録音機能

受信した内容を録音できる機能です。

1件あたり最大4分まで録音できます。

※保存された録音が10件を超える、または録音の合計が4分を超えると、古いものから自動的に消去されます。

※サーバー側の設定によっては、録音時間が短くなる場合があります。

※本製品の録音データは、取り出せません。

※お買い上げの販売店で、録音機能が設定されている場合に使用できます。

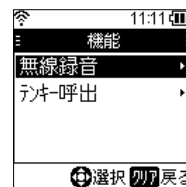
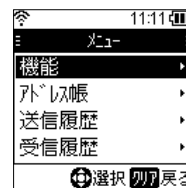
録音機能をご利用時のご注意

電源を切るときに、録音内容が本製品のメモリーに保存されますので、「電源OFF」の表示が消えるまでお待ちください。

※処理が完了する前にバッテリーパックを取りはずした場合、録音データが消えたり、消去した録音内容が残ったりすることがありますのでご注意ください。

◇メニュー画面で無線録音を有効にする

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「機能」を選択します。
3. [▲]/[▼]を押して、「無線録音」を選択します。
4. [▲]/[▼]を押して、「ON」を選択します。
 - 無線録音ON時、「」が点灯します。
 - 録音中は「」が点滅します。
 - 再生されていない録音内容があるときは、「」が点滅します。



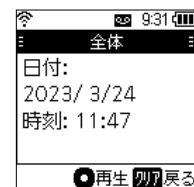
録音機能ON時

3 応用操作

■ 録音機能

◇ 録音内容を再生するときは

1. [メニュー]/[▲]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「録音履歴」を選択します。
3. [▲]/[▼]を押して、再生する録音データを選択します。
※録音データがないときは、録音履歴は表示されません。
4. [決定]を押します。
 - 選択した録音内容が再生されます。
 - 再生中に[決定]を押すと、再生を停止します。

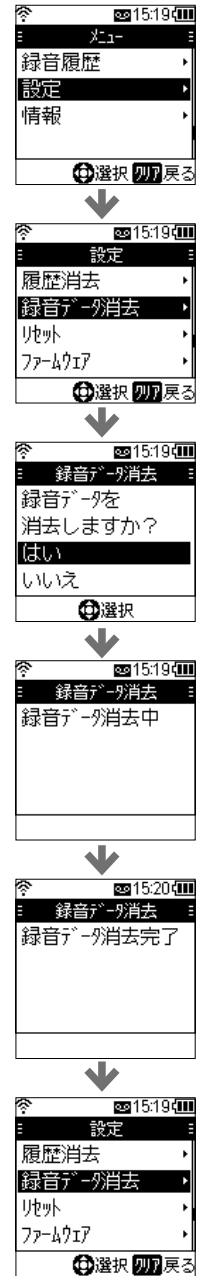
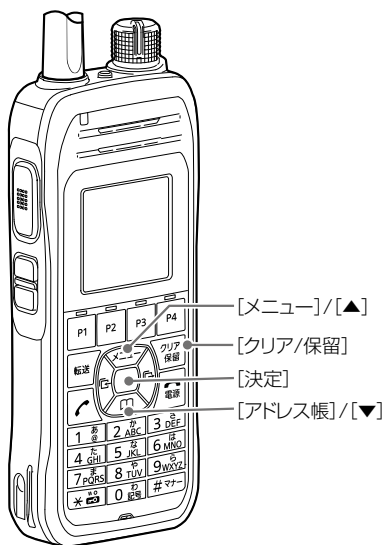


3 応用操作

■ 録音機能

◇ 録音内容をすべて消去するときは

1. 電源を切った状態で、[メニュー]を押しながら、電源を入れます。
※待ち受け画面が表示されたら、[メニュー]から指をはなします。
2. [メニュー]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、「設定」を選択します。
4. [▲]/[▼]を押して、「録音データ消去」を選択します。
5. 「はい」を選択して、[決定]を押します。
 - 録音内容がすべて消去されます。



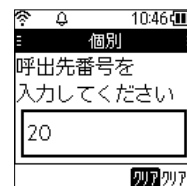
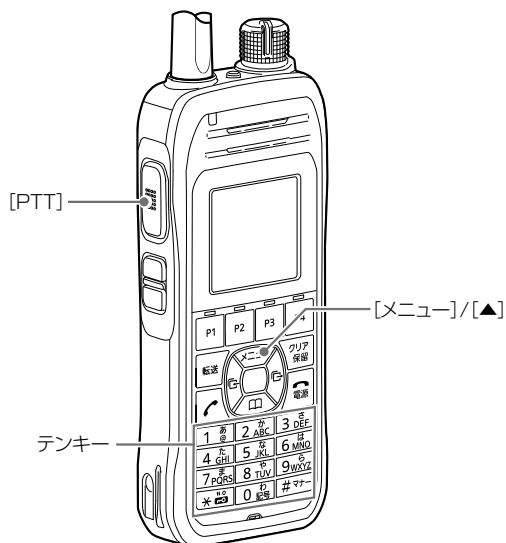
3 応用操作

■ テンキー呼出

テンキーで相手先(個別番号、グループ番号)を入力したあと、[PTT]を押すと、アドレス帳にない相手も呼び出しできます。

※メニュー⇒機能⇒テンキー呼出で設定できます。

※IP電話機モードと併用はできません。



3 応用操作

■ 通知補助機能

受信したときにバックライトの色を切り替えて、通知を認識しやすくする機能です。

※お買い上げの販売店で設定されている場合に動作します。

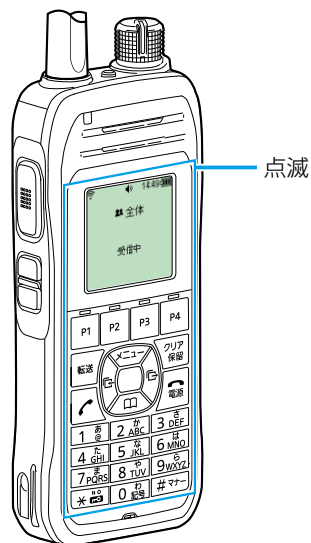
通常の呼び出しを受信したとき(緑点滅)



緊急呼び出しを受信したとき(赤点滅)



電話を着信したとき(青点滅)



■ 同時受信時の画面について	4-2
◇ 無線通話状態から電話に応答する	4-2
◇ 電話通話中に全体呼び出しに応答する	4-2

4 デュアルモード時の操作

■同時受信時の画面について

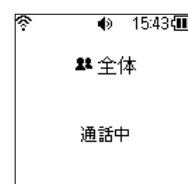
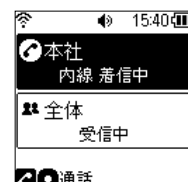
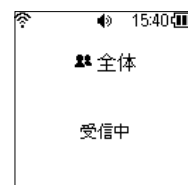
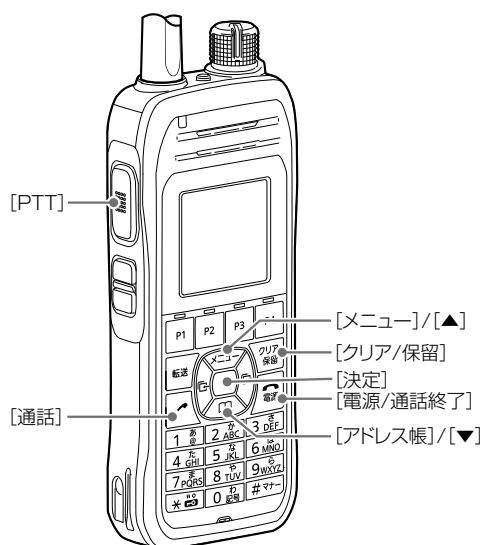
無線呼び出しを受信中、または送信中に電話を着信したときは、同時受信中の画面に切り替わります。

◇無線通話状態から電話に応答する

1. [▲]/[▼]を押して、「着信中」を選択します。
2. [決定]、または[通話]を押して、電話に応答します。
※応答すると、無線呼び出しは「保留中」に切り替わり、受信している音声はミュートされます。
3. [電源/通話終了]を押して、通話を終了します。
•無線呼び出しが継続している場合は、無線通話に戻ります。

◇電話通話中に全体呼び出しに応答する

1. [▲]/[▼]を押して、「全体」を選択します。
2. [PTT]を押して、無線呼び出しに応答します。
※応答すると、電話は終話します。
※サーバー側の設定によっては、[PTT]を押しても応答できません。



■ メニュー画面による機能設定	5-2
■ メニュー項目一覧	5-3

5 各種機能の設定(メニュー画面)

■メニュー画面による機能設定

各機能を変更できるメニュー画面は、基本モードと詳細モードの2種類があり、表示される設定項目が異なります。また、メニューごとに、設定項目が構成されていますので、5-3ページ以降をご覧ください。

1. 基本モードの場合：待ち受け画面で[メニュー]を押します。
詳細モードの場合：電源を切った状態で、[メニュー]を押しながら、電源を入れます。
起動後、待ち受け画面で[メニュー]を押します。
※「Now Loading...」が表示されるまで
[メニュー]を押しつづけてください。
2. [▲]/[▼]を押して設定する項目を選択し、[決定]を押し、設定内容を変更します。
※適合表示無線設備の番号など認証番号を確認するときは、
「メニュー>情報>認証」を選択します。



5 各種機能の設定(メニュー画面)

■メニュー項目一覧

各機能を変更できるメニュー画面は、基本モードと詳細モードの2種類があります。(P.5-2)

※  欄は、メニュー画面(詳細モード)で変更できる設定項目です。

※表示される設定項目や初期値は、お買い上げ時の設定によって異なります。

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

項目	内容	選択肢/設定範囲
機能		
メッセージ★ ¹	メッセージを送信する機能	設定された一覧を表示
プレゼンス★ ¹	プレゼンスを送信する機能	設定された一覧を表示 ※設定されていない場合は、番号が表示されます。
遠隔送信★ ²	端末から別の端末に対して、自動送信を要求できる機能 ※お買い上げの販売店で、遠隔送信機能(要求元/受信端末側)、緊急呼び出し機能(受信端末側)が設定されている場合に使用できます。	要求、要求(エマージェンシーサイレントモード)、解除(エマージェンシーサイレントモード)
近隣呼出★ ¹	特定のエリアに限定して運用するときに使用する機能	OFF、ON
トークグループ★ ¹	所属するトークグループを選択	設定された一覧を表示
無線録音★ ¹	受信した音声を録音する機能	OFF、ON
テンキー呼出★ ³	テンキーで呼出先を入力する機能	OFF、個別、グループ
ワンタッチPTT★ ¹	[PTT]を短く押すごとに、送信と受信を切り替える機能 ※「ON」にすると、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がなくなります。	OFF、ON
アドレス帳		
全体★ ⁴	全体呼び出しに設定	全体
グループ★ ⁴	呼び出すグループを選択	設定された一覧を表示
個別★ ⁴	呼び出す相手を選択	設定された一覧を表示
電話帳★ ⁵		
共通電話帳	登録された電話帳から選択	設定された一覧を表示
個別電話帳	登録された電話帳から選択	設定された一覧を表示
送信履歴		
電話発信履歴	IP電話機モード時の発信履歴	最大30件
無線送信履歴	IP無線機モード、WLAN無線機モード時の送信履歴	最大10件
メッセージ送信履歴	IP無線機モード、WLAN無線機モード時のメッセージ送信履歴	最大10件
受信履歴		
電話着信履歴	IP電話機モード時の着信履歴	最大30件
無線受信履歴	IP無線機モード、WLAN無線機モード時の受信履歴	最大10件
メッセージ受信履歴	IP無線機モード、WLAN無線機モード時のメッセージ受信履歴	最大10件
録音履歴	録音履歴を表示	最大10件

★¹ コントローラー側で設定されている場合に表示されます。

★² 「IP無線機モード」時に表示されます。

★³ 「IP無線機モード」、「WLAN無線機モード」時に表示されます。

★⁴ 「IP電話機モード」時は表示されません。

★⁵ 「IP電話機モード」、「IP無線機+IP電話機モード」、「WLAN無線機+IP電話機モード」時に表示されます。

5 各種機能の設定(メニュー画面)

■メニュー項目一覧

項目	内容	選択肢/設定範囲
設定		
通信モード	サーバーに接続する通信方法を選択 ※IP無線機モード、IP無線機+IP電話機モードでは設定できません。	WLAN、LTE
Bluetooth		
Bluetooth機能	Bluetooth機能対応の別売品とペアリングするための設定	OFF、ON
自動接続	Bluetooth機能の自動接続を設定	OFF、ON
検索	Bluetooth機能対応機器の検索	—
ペアリングリスト	ペアリングリストから接続、削除する	接続、削除、BTアドレス表示
ワンタッチPTT★ ¹	Bluetooth接続時のワンタッチPTT機能 ※「ON」にすると、Bluetoothマイクロホンの[PTT]を押しつづける必要がなくなります。	OFF、ON
マイク経路スイッチ	Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、使用するマイクロホンの設定 ◎自動 [PTT]が押された機器のマイクを使用します。 ◎無線機マイク Bluetooth機器の[PTT]を押したとき、無線機本体のマイクを使用します。 別売品のマイクロホン(外部マイク)が接続されている場合は、外部マイクを使用します。 ※Bluetooth機器以外のPTT操作は、[PTT]が押された機器のマイクを使用します。 ◎Bluetoothマイク 送信時、Bluetooth機器のマイクを使用します。	自動、無線機マイク、Bluetoothマイク
マイクレベルオフセット	無線機本体や無線機本体に接続したマイクロホンに対して、Bluetoothマイクロホンの感度が高すぎたり低すぎたりするときに調整するBluetoothマイクロホンの感度設定	0～20
AFレベルオフセット	無線機本体や無線機本体に接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに調整するBluetooth機器の音量設定	0～22
Bluetooth設定		
AF出力切替	Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、無線機本体からの音声出力設定	ヘッドセットのみ、ヘッドセット&スピーカー★ ⁶
自動切断	Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が設定時間つづいたとき、ヘッドセットとの接続を自動で切断します	OFF、0～10秒
パワーセーブ	Bluetooth接続時のパワーセーブ機能 ※「ON」にすると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。 ◎着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音出力されます。 ◎送信するときは、1度[PTT]を押してはなすと、「ブツ」と音がしてパワーセーブが解除されます。 パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。	OFF、ON
PTTビーブ	Bluetooth接続時のPTTビーブ機能 ※「ON」にすると、Bluetoothマイクロホンの[PTT]を押したときに「ビバ」と鳴ります。	OFF、ON
本体ボリューム連動	Bluetooth接続時に使用する音量設定(ボリューム連動機能) ※「ON」にすると、Bluetooth接続している本製品の[音量]でも音量を調整できます。	有効、無効
エコーキャンセラー	Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能	OFF、ON

★¹ コントローラー側で設定されている場合に表示されます。

★⁶ IP210Hのスピーカーの音がBluetooth側のマイクに入らないよう、距離を離してご使用ください。

5 各種機能の設定(メニュー画面)

■メニュー項目一覧

項目	内容	選択肢/設定範囲
設定		
Bluetooth		
Bluetooth設定		
ノイズキャンセラー	Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能	OFF、ON
自機器情報	無線機本体の機器名称、BTアドレスを表示	—
Bluetooth初期化	ペアリング済み機器をすべて削除	はい、いいえ
言語切替	言語の切り替え	English、日本語
ホーム画面	待ち受け画面に表示する内容を選択	日時表示、カレンダー表示
コントラスト	表示部のコントラスト(濃淡)	1～16
履歴消去	すべての履歴を削除	はい、いいえ
録音データ消去	すべての録音データを削除	はい、いいえ
SIM切替	使用するSIMカードの切り替え	SIM1、SIM2
リセット	初期化(初期値に戻す)	はい、いいえ
ファームウェア	最新ファームにアップグレード	はい、いいえ
情報		
SIP	レジストしているSIPサーバーの情報を表示	—
ネットワーク	接続している無線ネットワークの状態を表示	—
端末情報	本製品の自局番号、内線番号を表示	—
システム	本製品のファームウェアバージョンを表示	—
認証	確認証を表示	—
カレンダー表示	カレンダーの表示	—

6 章

別売品とその使いかた

■ 別売品一覧	6-2
■ 運用時間と充電時間の目安	6-3
■ 別売品の接続について	6-4
■ BC-265で充電するには	6-5
■ BC-265の連結充電について	6-6

6 別売品とその使いかた

【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる本製品の破損、故障、または動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧

弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> でも、別売品についてご覧いただけます。

バッテリー関係

BP-311★¹ : リチウムイオンバッテリーパック
(Min : 3120mAh、Typ : 3280mAh)

充電する

BC-228 : ACアダプター(BC-265用の充電)
BC-265 : 2口連結型充電器(最大4台連結可能)

スピーカー関係

EH-11★² : イヤーパッド型スピーカー
(プラグ : φ2.5mm)

イヤホン関係

EH-13★² : 耳かけ型イヤホン(プラグ : φ2.5mm)
EH-15★³ : イヤホン(プラグ : φ2.5mm)
※EH-15B(黒色)
SP-16★⁴ : 耳かけ型イヤホン(プラグ : φ3.5mm)
※SP-16B(黒色/ケーブル長 : 約50cm)
※SP-16BW(黒色/ケーブル長 : 約1m)
SP-28★³ : 耳かけ型イヤホン(プラグ : φ2.5mm)
※ケーブル長 : 約45cm
SP-29★⁴ : 耳かけ型イヤホン(プラグ : φ3.5mm)
※SP-29L(L型プラグ/ケーブル長 : 約97cm)

本製品を保護する

LC-201 : キャリングケース

腰にかける

MBB-1★¹ : ベルトクリップ

肩にかける

MB-57L★⁵ : ショルダーストラップ
MB-61★⁵ : ショルダーストラップ

マイクロホン/ヘッドセット関係

HM-104★²★⁶ : 単一指向性タイピン型マイクロホン
HM-104A★²★⁶ : 無指向性タイピン型マイクロホン
HM-153★⁷★⁸ : イヤホンマイクロホン
HM-153LS : イヤホンマイクロホン
HM-166★⁷★⁸ : 小型イヤホンマイクロホン
HM-166LS★⁸ : 小型イヤホンマイクロホン
HM-238LS★⁶ : サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン
HS-92★² : ヘルメット取り付け型ヘッドセット
HS-94★⁹ : イヤーフック型ヘッドセット
HS-95★⁹ : ネックアーム型ヘッドセット
HS-97★⁹ : 咽喉マイクロホン
HS-99★⁸ : 耳かけ式イヤホンマイク
HS-102★²★⁸ : イヤホン型ヘッドセット
VS-3★⁸ : Bluetoothヘッドセット

接続する

OPC-2006LS : VOX機能用変換ケーブル
OPC-2144 : スリムL型プラグ変換ケーブル
OPC-2277LS : 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル
OPC-2328 : 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル
OPC-2359★⁸ : 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル
OPC-2375LS : イヤホン接続用変換ケーブル

- ★1 本製品に付属のものと同等級です。
- ★2 OPC-2277LS(通話スイッチ内蔵型接続ケーブル)が必要です。
- ★3 HM-104、HM-104A、HM-238LSと組み合わせてご使用になれます。
- ★4 OPC-2375LS(イヤホン接続用変換ケーブル)が必要です。
- ★5 LC-201と組み合わせてご使用になれます。
- ★6 EH-15、EH-15B、SP-28と組み合わせてご使用になれます。
- ★7 OPC-2144(スリムL型プラグ変換ケーブル)が必要です。
- ★8 複信通話に対応しています。
- ★9 VOX機能を使用する場合はOPC-2006LS(VOX対応変換ケーブル)、通話スイッチを使用する場合はOPC-2328(通話スイッチ内蔵型接続ケーブル)が必要です。

ご参考

本製品をパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP210H(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※弊社ホームページに掲載の「CS-IP210H 取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがって付属のUSBケーブルを接続してください。

※このソフトウェアは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップをすることがあります。
バージョンアップの作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

6 別売品とその使いかた

■ 運用時間と充電時間の目安

ご使用になる運用モードやバッテリーパック、充電器によって、運用時間や充電時間が異なります。

BP-311

電池の種類		リチウムイオン
電池の容量		3120mAh min.(3280mAh typ.)
出力電圧		3.6V
運用時間	IP無線機モード	約18時間
	WLAN無線機モード	約29時間(通信モード：WLAN) 約14時間(通信モード：LTE)
	IP電話機モード	約6.5時間(連続通話時)
	IP無線機+IP電話機モード	約15時間
	WLAN無線機+IP電話機モード	約30時間(通信モード：WLAN) 約12時間(通信モード：LTE)
充電時間	BC-265(本製品に装着)使用時	約2.5時間
	BC-265(BP-311単体)使用時	約3.5時間
	BC-258(USB充電)使用時	約2.5時間

条件：送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し

Bluetooth：OFF、バックライト：OFF

※外部イヤホンを使用時の運用時間です。内蔵スピーカーを使用した場合、運用時間は短くなります。

※お買い上げ時にGPS機能が設定されている場合、WLANモード、デュアルモード時、圏外やローミングを繰り返す環境でご使用になる場合、運用時間は短くなります。

※バッテリーパックの残量がなく、本製品の電源を切った状態で充電した場合の時間です。

※PCにUSBケーブルを接続して充電できますが、BC-258を使用したときよりも充電時間は長くなります。

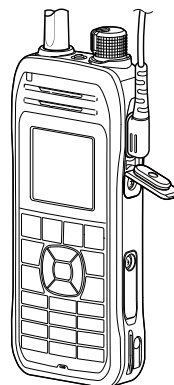
※0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。

※環境温度により充電時間が長くなる場合があります。

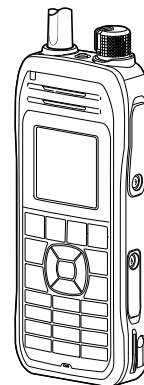
6 別売品とその使いかた

■ 別売品の接続について

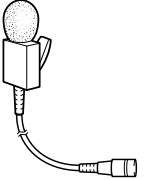
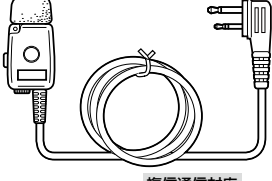
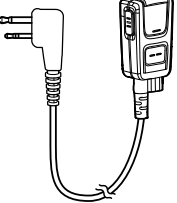
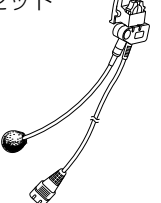
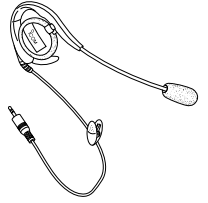
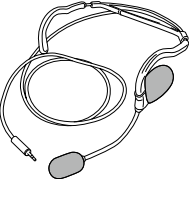
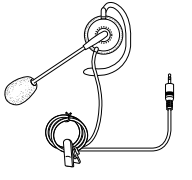
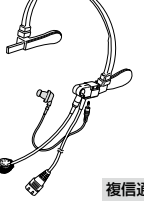
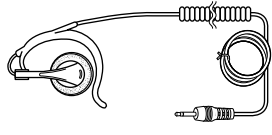
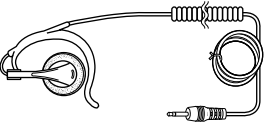
- ◎接続ケーブルを抜き差しする前に、本製品の電源を切ってください。
- ◎プラグ本体を持ってまっすぐに抜き差ししてください。
- ◎防水対応により、差し込み部分がかたくなっていますので、プラグを接続するときは、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、しっかりと保護カバーを閉じた状態でご使用ください。



別売品取り付け時



保護カバーを閉じた状態

HM-104/HM-104A^{★1★3} 単一指向性/無指向性 タイピン型マイクロホン 	HM-153LS/HM-153^{★2} イヤホンマイクロホン  複信通信対応	HM-166LS/HM-166^{★2} イヤホンマイクロホン  HM-166LS 複信通信対応	HM-238LS^{★3} イヤホンマイクロホン 
HS-92^{★1} ヘルメット取り付け型 ヘッドセット 	HS-94^{★4}(VOX機能^{★6}) イヤーフック型ヘッドセット 	HS-95^{★4}(VOX機能^{★6}) ネックアーム型ヘッドセット 	HS-97^{★4}(VOX機能^{★6}) 咽喉マイクロホン 
HS-99^{★4}(VOX機能^{★6}) 耳かけ式イヤホンマイクロホン 	HS-102^{★1} イヤホン型ヘッドセット  複信通信対応	SP-28 耳かけ型イヤホン 	SP-29/SP-29L^{★5} 耳かけ型イヤホン  SP-29

EH-11 イヤーパッド型スピーカー

EH-13 耳かけ型イヤホン

EH-15 イヤホン

EH-15B イヤホン(黒色)

SP-16 耳かけ型イヤホン

SP-16B 耳かけ型イヤホン(黒色/ケーブル長：約50cm)

SP-16BW 耳かけ型イヤホン(黒色/ケーブル長：約1m)

★1 OPC-2277LS(通話スイッチ内蔵型接続ケーブル)が必要です。

★2 OPC-2144(スリムL型プラグ変換ケーブル)が必要です。

★3 EH-15、EH-15B、SP-28と組み合わせてご使用になれます。

★4 VOX機能を使用する場合はOPC-2006LS(VOX対応変換ケーブル)、通話スイッチを使用する場合はOPC-2328(通話スイッチ内蔵型接続ケーブル)が必要です。

★5 OPC-2375LS(イヤホン専用変換ケーブル)が必要です。

★6 VOX機能を使用する場合は、お買い上げの販売店でVOX機能を「ヘッドセット」にする必要があります。

6 別売品とその使いかた

■BC-265で充電するには

お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

◎無線機本体にバッテリーパックを装着した状態、またはバッテリーパック単体(BP-311)で、図のように充電器に差し込んでください。

◎充電中、無線機本体の充電ランプは青色に点灯します。充電が完了すると消灯します。

◎充電が完了したあと、バッテリーパックの電圧が低下すると自動的に再充電を開始します。

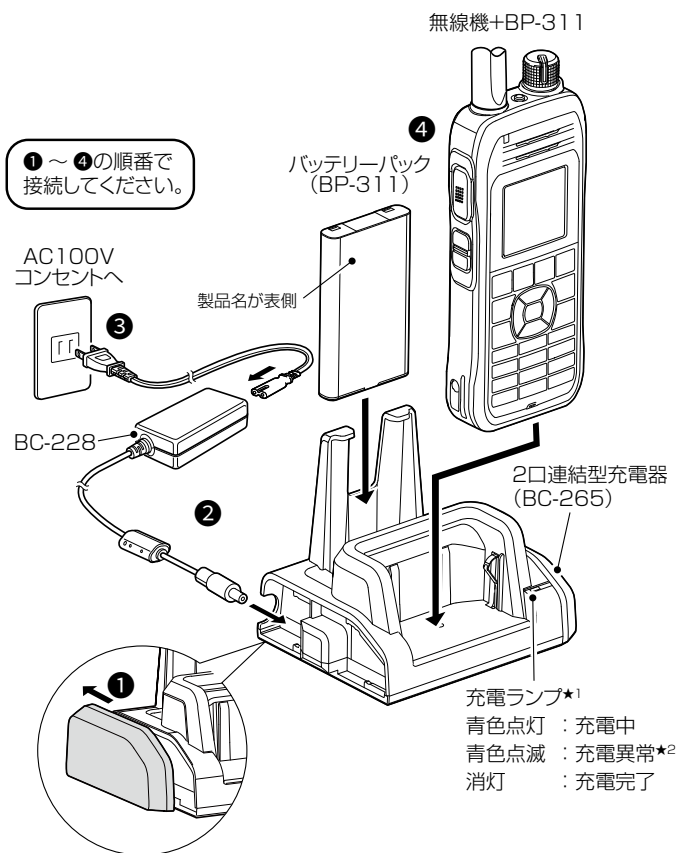
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。

※充電後や充電しないときは、ACコンセントから電源ケーブルを抜いてください。

※本製品の電源を切らない状態での充電を繰り返すと、バッテリーパックの寿命が短くなる場合があります。

※直射日光のあたる場所や炎天下の車内など、高温になる場所での使用、放置はしないでください。

※0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。



★1 バッテリーパック単体で充電したときの充電ランプです。

無線機に装着した状態での充電については、無線機本体の状態表示ランプで確認できます。(P.1-3)

★2 充電異常時は、上図の接続を確認し、充電しなおしてください。

【バッテリーパック単体で充電するには】

下図のように、バッテリーパックをBC-265に合わせて差し込み、ロックされていることを確認してください。



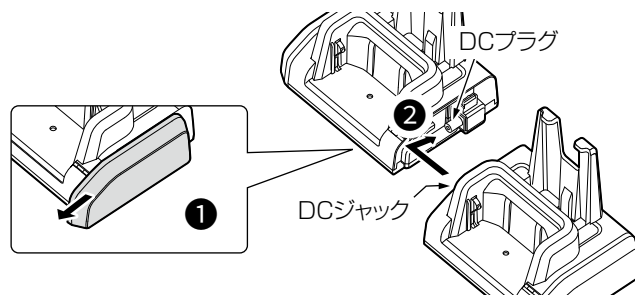
6 別売品とその使いかた

■BC-265の連結充電について

最大4台まで連結して、同時に充電できます。

【連結のしかた】

- ①充電器右側面のカバーを取りはずします。(①)
- ②右側面にあるDCプラグと、もう1台の充電器(左側面)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(②)



⚠警告

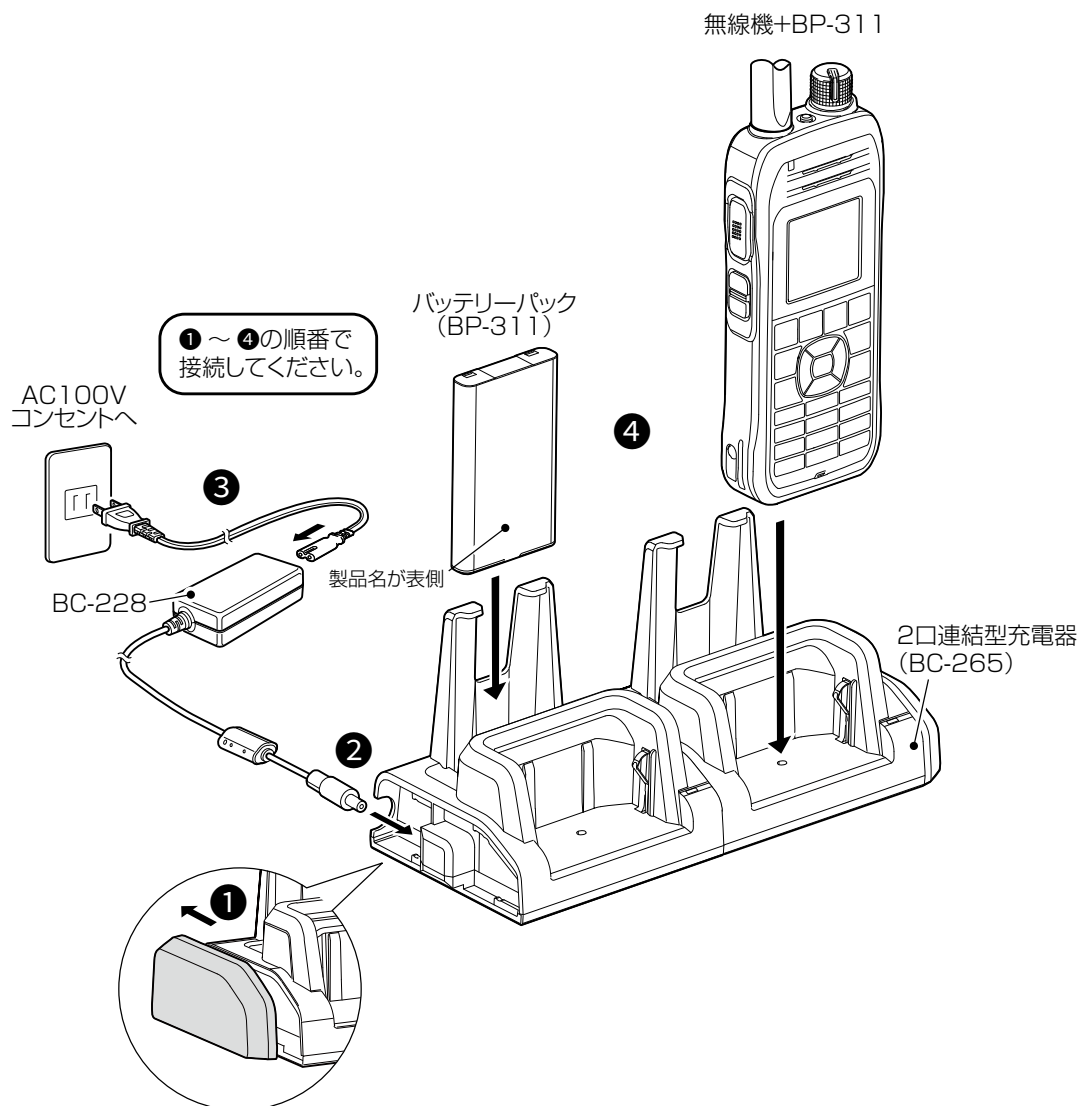
下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、故障の原因になります。

◎BC-265を連結できるのは、4台までです。

※5台以上連結して充電しないでください。

◎BC-265を複数台連結する場合、電源は必ず連結用ACアダプターBC-228をご使用ください。

例)BC-265を2台連結した場合



■ 故障かな?と思ったら	7-2
■ アフターサービスについて	7-4
■ 一般仕様	7-5
■ 送信部	7-5
■ 音声部	7-5
■ 無線LAN部	7-5
■ Bluetooth [®] 部	7-5
■ BC-265 2口連結型充電器	7-5

■故障かな?と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.7-4)までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
電源が入らない	端子の接触不良	バッテリーパックの端子を清掃する	—
	バッテリーパックの消耗	バッテリーパックを充電する	—
	バッテリーパックをご使用の場合、過放電保護回路が動作している	本製品からバッテリーパックを取りはずし、少し充電したあとにバッテリーパックをもう一度装着してから電源を入れる	—
充電中に[状態表示ランプ]が青色に点滅している	USBケーブル、またはACアダプターが正しく接続されていない	正しく接続されているかを確認する	P.1-3
	0℃～40℃以外の環境で充電している	0℃～40℃の環境で充電する	P.1-3
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に調整されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.1-3
	受信音声ミュートになっている	受信音声ミュートを解除する	P.3-12
通話できない	相手局番号、またはグループ番号を間違えている	相手局番号、またはグループ番号を確認する	P.2-4
相手から応答がない	LTEモード時、サービスエリア外「  」(点滅)になっている	場所を移動してから通話してみる	P.1-7
	LTEモード時、未レジスト「  」(点灯)になっている	再レジストのために、[PTT]を押すしばらく待つ、または場所を移動する LTEの回線契約、開通が完了しているかどうかを確認する	P.1-7
	WLANモード時、無線アクセスポイントとの距離が離れすぎている「  」(点滅)	場所を移動してから通話してみる	P.1-7
	WLANモード時、未レジスト「  」(点灯)になっている	再レジストのために、[PTT]を押すしばらく待つ、または場所を移動する 無線アクセスポイント側の設定を変更する	P.1-7
	相手局が不在、または電源を切っている	相手局の状態を確認する	—
着信音がならない	音量が最小に調整されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.1-7
	マナーモードに設定されている	マナーモードを解除する	—
キーを押すと、「キーロック中」と表示される	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.1-6
充電が完了しない	無線機の電源が入った状態で充電している	無線機の電源を切った状態で充電する	P.1-3
	状態表示ランプが点滅している	接続を確認し、充電しなおす	
LTEモード時、「  」(点滅)、または「接続試行中」と表示される	電波が不安定な場所にいる	場所を移動してみる	—
		本製品の電源を入れなおす	P.1-4
WLANモード時、「  」(点滅)、または「接続試行中」と表示される	電波が不安定な場所にいる	場所を移動してみる	—
		本製品の電源を入れなおす	P.1-4
消去した録音内容が残っている	録音内容が無線機本体のメモリーから消去される前に、バッテリーパックを取りはずした	バッテリーパックを交換するときは、「電源OFF」の表示が消えたことを確認してから、バッテリーパックを取りはずす	P.3-22
録音データが消えた	録音内容が無線機本体のメモリーに保存される前に、バッテリーパックを取りはずした		

7 ご参考に

■故障かな?と思ったら

現象	原因	処置	参照
ペアリングできない	ペアリングモードになっていない	ペアリングモードにする	P.3-13
	周辺にBluetooth対応機器が複数稼働している	ほかのBluetooth対応機器を停止させる	—
		ほかのBluetooth対応機器のない場所に移動する	—
	周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする	—
ペアリングしようとしたら、「これ以上ペアリングできません」が表示された	登録できる上限に達した状態で、ペアリングしようとした	新たにペアリングしたいときは、メニューの「Bluetooth機器削除」から不要な機器を削除してから再度ペアリングする	P.5-3
通話が突然切れる、または通話にノイズが入る	Bluetooth対応機器との距離がはなれている	Bluetooth対応機器との距離を近づける ※本製品との通信距離は約10mですが、周辺環境などによって通信距離が短くなることがあります。	—
	周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする	—
VS-3に接続したイヤホンから音が出ない	音量が小さくなっている	[VOL](+)ボタンを押して、音量を設定しなおす	—
		本製品の音量設定を上げる(ボリューム連動機能有効時のみ)	P.3-12
	イヤホンプラグがはずれかけている	イヤホンジャックに正しく差し込む	—

■アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(P.7-2)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00～17:00)

電子メール: support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ: <https://www.icom.co.jp/>

■一般仕様

使用温度範囲：－10℃～＋60℃
外形寸法：52.0(W)×131.0(H)×24.0(D)mm(突起物を除く)
重量：約195g(アンテナ、BP-311装着時)
電源：DC 3.6V(BP-311使用時)

■送信部

送信出力：＋23dBm(LTE)
10mW/MHz 以下(WLAN)

■音声部

音声符号形式：G.711 μ -law(64kbps)
G.726-32 (32kbps)
低周波出力：1.0W以上(内部スピーカー 4 Ω 5%歪率時)
0.01W以上(外部スピーカー 32 Ω 5%歪率時)
低周波出力：内部スピーカー 4 Ω /外部スピーカー 32 Ω
インピーダンス

■無線LAN部

無線通信規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠
セキュリティ：WEP(64/128bit)、
WPA-PSK(TKIP/AES)、
WPA2-PSK(TKIP/AES)
チャンネル数：2.4GHz帯 13チャンネル
5GHz帯 19チャンネル
プロトコル：TCP/IP

■Bluetooth[®]部

対応バージョン：Bluetooth標準規格 Ver. 5.3
送信出力：Class1
対応プロファイル：HFP、HSP
変調方式：GFSK、 $\pi/4$ -DQPSK、8DPSK

■BC-265 2口連結型充電器

入力電圧：DC15V(BC-228使用時)
使用温度範囲：10℃～40℃
外形寸法：106.0(W)×83.4(H)×77.8(D)mm(カバー装着時)
重量：約154g

※ 定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～